

バリアフリームーブメント

「いざ」じゃないとき知る知識！
「いざ」というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう！

今回のテーマ ペットボトルに 使いやすい工夫

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてあげるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や商品を紹介しているこのコーナー。
今回は「水のペットボトル」にひけられた配慮をご紹介します。
(森川 美和)

竹蔵さんは、「特に大容量について、大きい・重い・注ぎにくいという物理的なハンディがあるため、よりその負荷が軽減

みんなに飲んでほしいから 『新・六甲のおいしい水』 に「工夫」！

ハウス食品(株)は、社会全体がお年寄りや体の不自由な人たちの対応を進めていることを受け、ハウス食品として何が出来るか、日々検討を行っています。

ある日、同社マーケティング本部健康食品部長の加藤浩二氏は、某販売店店頭で、目の不自由な方が商品を前に中身が何だか分からず困っておられるところを遭遇した。忙しい時間帯のため、店員もつかまらないうえ、その方は、ほしいものを買っために、店員の手があくの長い時間待たなければならなかったのだ。

その姿を見た加藤さんは、「その時私たちが出来ることは、目の不自由な方が容易に識別できるものとして製品自体に加工をする」と考えた。早速チームを組んで開発に取り出したのだ。そして、今年3月、新しい「ユニバーサル」

スーパーやコンビニエンスストア、デパートや酒屋などで、ペットボトルが登場するようになってから久しい。サイズも2000ml、1000ml、500ml、300mlなどがあり、用途やその時々で選べるのがうれしい。ペットボトルで販売されている飲料水の中に「水」がある。十数年前まで、水は「でも気軽に飲めるものだったため、水を買って飲む」と言つこと戸惑った方もいたのではないだろうか。



(写真A) ■「サントリー天然水(南アルプス)」
【商品のお問い合わせ】
サントリー(株)
電話：フリーダイヤル 0120-139-320
ホームページ：http://suntory.jp/WATER/

「戸惑いのあった」ペットボトルの水も、最近では災害時の備蓄や旅行時の水分補給など、日常生活のいろいろな場面で利用され、活躍の場を広げてきているように感じます。

家族みんなが使いやすい配慮 『サントリー天然水(南アルプス)』

過渡期 水晶をくぐり抜けた雪とけ水「サントリー天然水」は、これまで多くの人の喉を潤してきた。その「サントリー天然水」の2リットルボトルが、今年3月から新しくなった。「飲んでいただく」という方々は、お子様から高齢の方までと幅が広い。ボトルの形状を、もっと多くのお客様に使ってほしいと、「そんなサントリー(株)の思いから生まれたのが、「フラインガーポケット」(意匠登録中)。(写真A)だ。



(写真B) 加藤さんは、「今後、消費財メーカーとして、ユニバーサルデザイン、バリアフリーだけでなく、リサイクル、省資源といった環境対応の新しい考えを製品に取り入れていきたい」と話した。

より多くの人に使いやすくするための工夫のポイントは、触って分かる「水」の立体文字(写真B)、底書かれた「ミネ」の意字(写真C)、そして水が飛び出しにくい「持ちやすく注ぎやすい」ほみ「ユニバーサル・グリップ」(写真D)である。この他にも、ラベルは、はがしやすくリサイクル性の高い「弱粘糊」を採用したり、水性インクを使用したリして、環境にも配慮している。

「水のペットボトルの情報は目の不自由な人たちにも届き始め、同社では「新」になった入ったペットボトルに意図を入れていたのだ。購入するのにもとても便利です。お社の電話をぜひ



(写真D) ■「新・六甲のおいしい水」
【商品のお問い合わせ】
ハウス食品(株)
電話：フリーダイヤル 0120-50-1231
ホームページ：http://housefoods.jp/

